

(仮称) 府中市クリーンセンター (ごみ中継施設)
施設整備工事

審 査 講 評

令和 5 年 1 月

(仮称) 府中市クリーンセンター (ごみ中継施設)
施設整備事業者選定委員会

目 次

I	本工事の目的	1
II	本工事の概要	1
1	工事名	1
2	工事場所	1
3	施設概要	1
4	工期	1
5	本工事の範囲	2
III	落札者の選定方法	3
1	選定方法	3
2	選定委員会	3
3	落札者選定の流れ	3
IV	審査及び選定の手順	5
1	入札参加資格審査	5
2	形式審査	5
3	非価格要素審査	5
4	価格要素審査	6
5	総合評価	6
6	落札者決定までの経緯	7
V	審査結果の概要	8
1	入札参加資格審査	8
2	形式審査	8
3	非価格要素審査	9
4	価格要素審査	10
5	総合評価	10
VI	審査講評	11
1	非価格要素提案に係る審査講評	11
2	総評	12

I 本工事の目的

現在、府中市では、可燃ごみ及び可燃性粗大ごみを府中市クリーンセンターのごみ固形燃料化施設で処理しているが、福山リサイクル発電事業の終了に伴い、ごみ固形燃料化施設は令和6年3月末で処理を終了する予定である。

令和6年4月以降は、福山市が整備する次期ごみ処理施設において、可燃ごみ及び可燃性粗大ごみの破砕物の処理を行う予定である。

可燃ごみ及び可燃性粗大ごみの破砕物については、令和元年7月に府中市と福山市の間で締結した「府中市内から発生する一般廃棄物の処理に関する基本協定書」において、大型車に積み替えた上で搬入するとされていることや、資源ごみ等を引き続き受入れ、処理又は一時仮置きすること等から、本工事では、中継施設及びストックヤードの整備を行う。

なお、本施設の整備にあたっては、整備場所の立地条件、周辺環境との調和、公害の防止、安全性及び機能性等に配慮しながら、合理的及び経済的で、かつ維持管理が容易な中継施設を目指すものとする。

II 本工事の概要

1 工事名

(仮称) 府中市クリーンセンター (ごみ中継施設) 施設整備工事

2 工事場所

広島県府中市鶴飼町74番地2

3 施設概要

		概要
中継施設	処理対象物	可燃ごみ及び可燃性粗大ごみ
	施設規模	可燃ごみ : 30t/日 可燃性粗大ごみ : 0.3t/5h 以上 (既設利用)
	処理方式	貯留排出機方式
ストックヤード	処理対象物	資源ごみ等、破砕できない可燃性粗大ごみ及び不燃性粗大ごみ
	施設規模	有効面積 440m ² 程度以上
関連施設		擁壁

4 工期

着手：工事請負契約締結日の翌日 (実施設計を含む。)

完成：令和7年9月30日

5 本工事の範囲

本工事の範囲は、下表のとおりである。

	概 要
本施設の建設	本施設の実施設計及び詳細設計
	確認申請等各種許認可申請の手続
	交付金申請手続に関する資料の作成
	施設設置届等に関する資料の作成
	準備工事（インフラ整備等）
	施工及び施工管理
	付帯施設、緑地等の整備
	本施設の試運転
	本施設の性能確認及び引渡し
	本施設の完成図書及びパンフレットの作成
市が行う近隣対応等への協力	
本施設の運営	本施設の運転指導
	予備品及び稼働後1年間の消耗品等の納入
	引渡し後の各種保証
既存施設の解体・撤去	解体・撤去に伴う各種許認可申請の手続
	施工及び施工管理
	市が行う近隣対応等への協力
上記項目に付随する業務	

Ⅲ 落札者の選定方法

1 選定方法

落札者の選定は、地方自治法施行令第167条の10の2の規定に基づき、総合評価落札方式一般競争入札により実施した。

2 選定委員会

落札者選定のための審議及び審査等は、（仮称）府中市クリーンセンター（ごみ中継施設）施設整備事業者選定委員会（以下、「選定委員会」という。委員構成は次表のとおり）において実施した。

選定委員会では、入札説明書や落札者決定基準等について真摯に審議を重ねるとともに、技術提案書について公平かつ厳正に審査及び評価を行った。

	名前	所属・役職	備考
外部委員			
委員長	西村和之	県立広島大学生物資源科学部 教授	
委員	崎田省吾	広島工業大学環境学部 教授	
委員	小島田博夫	広島県土木建築局営繕課 参事	
委員	平賀麻里子	広島県東部厚生環境事務所福山支所衛生環境課 参事	
内部委員			
副委員長	村上明雄	府中市 副市長	
委員	豊田弘治	府中市 総務部長	
委員	河毛茂利	府中市 建設部長	

3 落札者選定の流れ

落札者の選定は、落札者決定基準に基づいた入札参加資格審査、形式審査、非価格要素審査、価格要素審査を実施し、非価格要素審査点と価格要素審査点を合計した総合評価値の点数を算出して行った。落札者決定までの経緯を図-1に示す。

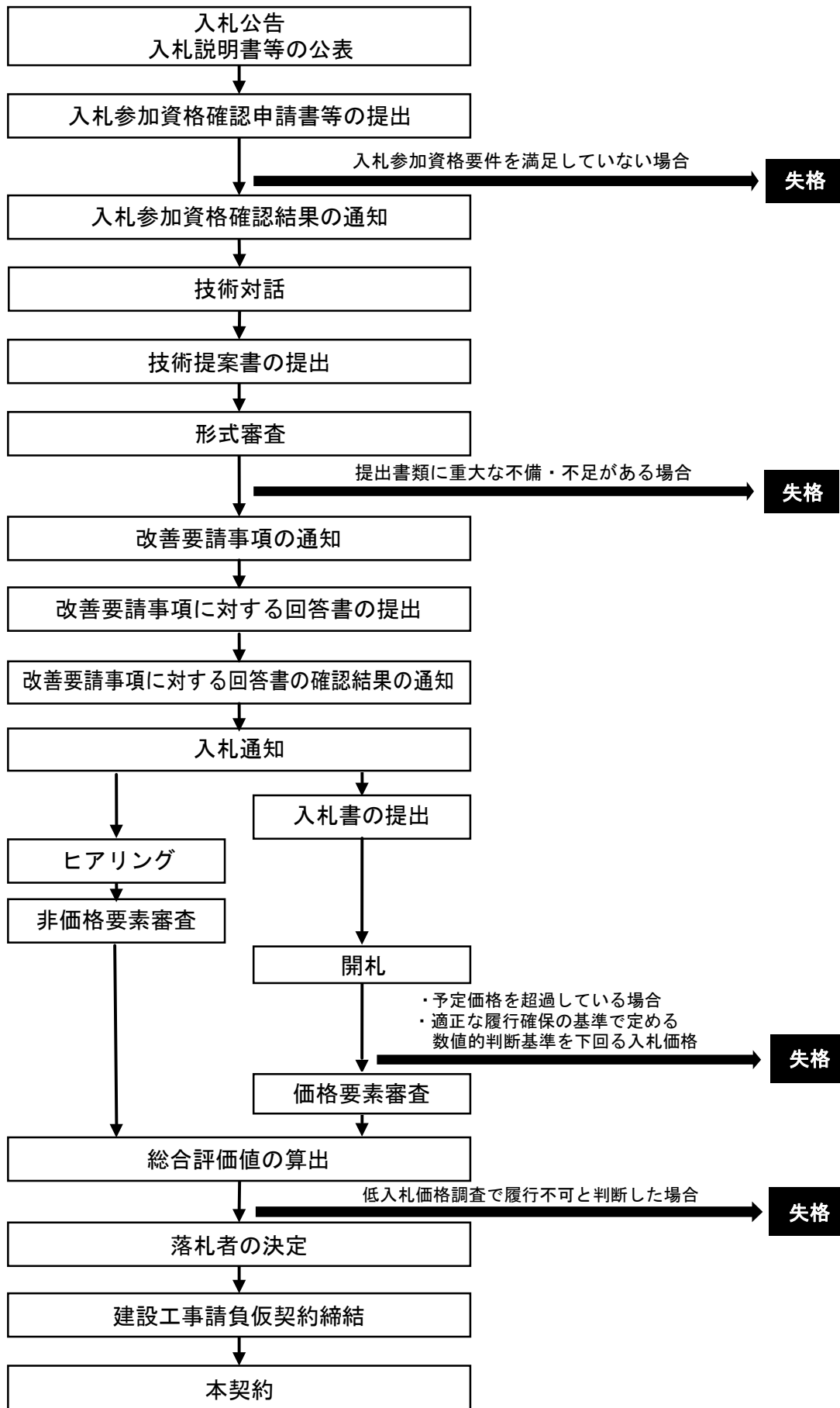


図-1 入札公告から工事請負契約締結までのフロー

IV 審査及び選定の手順

1 入札参加資格審査

提出された入札参加資格確認申請書について、入札説明書に記載した入札参加資格要件を満たしているか確認を行った。

2 形式審査

提出された技術提案書について、以下の視点から確認を行った。

- (1) 必要な書類が揃っているか
- (2) 様式集に従った形式を満たしているか

3 非価格要素審査

形式審査を通過した入札参加者を対象に、非価格要素について審査し、非価格要素点を算定した。非価格要素点の満点は70点とした。

非価格要素審査においては、非価格要素提案書の内容に基づいた評価を実施した。また、入札参加者へのヒアリングを実施した。

入札参加者の非価格要素提案に関する審査については、公平、透明性の観点から企業名及び関連する企業名は一切開示せず、提案を識別するために府中市が指定した名称で分類した。

(1) 審査項目と配点

非価格要素審査の評価項目及び配点は、以下のとおりである。

評価項目	配点
安全・安心で安定した稼働ができる施設	28
設備・機器等の配置計画、作業動線計画	(4)
運転管理計画、運転指導計画	(4)
施設の安定稼働に関する実現方策	(10)
工事施工計画	(10)
環境保全に配慮した施設	12
建設工事中における作業環境や周辺環境への配慮	(6)
施設稼働後における作業環境や周辺環境への配慮	(6)
地域に貢献し、親しまれる施設	4
環境学習・啓発の場としての機能	(4)
経済性に優れた施設	8
ライフサイクルコストの低減	(8)
その他	18
地域経済への配慮・貢献	(8)
ごみ処理施設の施工実績	(10)
合計	70

(2) 評価基準及び点数化の方法

非価格要素に関する技術提案内容について、上記の「評価項目と配点」に示す評価項目ごとに、下表の評価基準及び点数化方法に基づき点数化を行った。

(3) 非価格要素審査の点数の算出方法

非価格要素審査の点数は、審査項目の評価値をもとに、下式により算出した。

	評価基準	点数化の方法
優	当該評価項目において優れた提案となっている	配点×1.00
良	当該評価項目において良い提案となっている	配点×0.75
可	当該評価項目において妥当な提案となっている	配点×0.50
加点なし	当該評価項目において発注仕様を満たす程度の提案である	配点×0.00

非価格要素点は、下式により算出した。なお、評価項目ごとの委員の評価値（平均値）は、小数点以下第3位を四捨五入した値とした。

$$\text{非価格要素点} = \Sigma (\text{評価項目ごとの委員の評価値 (平均値)})$$

4 価格要素審査

入札書に記載された入札価格について、有効な入札価格（予定価格を超過する入札価格及び府中市低入札価格調査制度運営要綱に基づく適正な履行確保の基準のうち、数値的判断基準（工事費内訳での判断基準）を下回る入札価格を除く）であることの確認を行った上で、下式により価格要素点を算出した。点数は、小数点以下第3位を四捨五入した値とした。

$$\text{価格要素点} = 30 \text{点} \times (\text{最低入札価格} \div \text{入札価格})$$

5 総合評価

非価格要素点と価格要素点の合計によって総合評価値を算出し、総合評価値が最も高い者を落札者とした。

$$\text{総合評価値} = \text{非価格要素点} + \text{価格要素点}$$

6 落札者決定までの経緯

落札者決定までの経緯は、表 1のとおり実施した。

表 1 落札者決定までの経緯

日付	内容
令和3年7月20日	第1回選定委員会
令和3年8月12日	参考見積提案の公募開始
令和3年10月29日	参考見積提案図書の提出期限
令和4年5月19日	第2回選定委員会
令和4年7月4日	入札公告（入札説明書類の公表）
令和4年7月13日	第1回質問提出期限（入札説明書、落札者決定基準、様式集Ⅰ）
令和4年7月20日	第1回質問に対する回答期限
令和4年7月27日	入札参加資格審査申請書類の提出期限
令和4年8月2日	第2回質問提出期限（発注仕様書、様式集Ⅱ）
令和4年8月8日	入札参加資格審査結果の通知
令和4年8月9日	第2回質問に対する回答期限
令和4年8月30日	技術対話の実施
令和4年9月30日	技術提案書の提出期限
令和4年11月17日	第3回選定委員会
令和4年11月22日	改善要請事項の通知
令和4年12月21日	改善要請事項に対する回答書の確認結果の通知、入札通知
令和4年12月28日	入札書の提出期限
令和5年1月5日	プレゼンテーション・ヒアリング
令和5年1月5日	開札
令和5年1月5日	第4回選定委員会
令和5年1月12日	落札者の決定・公表

V 審査結果の概要

1 入札参加資格審査

入札参加資格審査では、『入札説明書 VI 入札参加資格要件』に示す入札参加資格要件の充足状況などの確認を行った。

入札参加資格審査の結果、入札参加資格確認申請書を提出した2社すべてが入札参加資格要件を満足しており、表2のとおり合格とした。

なお、さつきからは、令和4年9月22日に辞退届が提出され、これを受理した。

表 2 入札参加資格審査結果

指定名称 審査項目	あやめ	さつき
入札参加資格 審査の結果	合格	合格

表 3 入札参加者一覧

	企業名
あやめ	テスコ株式会社
さつき	内海プラント株式会社

2 形式審査

形式審査では、入札説明書、落札者決定基準、様式集及び発注仕様書に基づき、『①必要な書類が揃っているか』、また、『②様式集に従った形式を満たしているか』等、書類の有無、指定された形式の合否などの確認を行った。

形式審査の結果、技術提案書を提出した1社は形式審査の要件を満足しており、表4のとおり合格とした。

表 4 形式審査結果

指定名称 審査項目	あやめ
①必要な書類が揃っているか	○
②様式集に従った形式を満たしているか	○
形式審査の結果	合格

3 非価格要素審査

非価格要素に関する技術提案内容について、非価格要素提案書の内容に基づいた評価を行うとともに、入札参加者へのヒアリングを実施した。

その後、評価項目ごとに評価基準及び点数化方法に基づき、非価格要素点の算定を行った。

非価格要素点の算定結果は、表 5に示すとおりである。

表 5 非価格要素点の算定結果

評価項目		配点	あやめ
安全・安心で安定した稼働ができる施設	設備・機器等の配置計画、作業動線計画	4	3.71
	運転管理計画、運転指導計画	4	3.00
	施設の安定稼働に関する実現方策	10	8.57
	工事施工計画	10	6.79
環境保全に配慮した施設	建設工事における作業環境や周辺環境への配慮	6	3.86
	施設稼働後における作業環境や周辺環境への配慮	6	4.71
地域に貢献し、親しまれる施設	環境学習・啓発の場としての機能	4	2.71
経済性に優れた施設	ライフサイクルコストの低減	8	6.86
その他	地域経済への配慮・貢献	8	6.71
	ごみ処理施設の施工実績	10	4.50
非価格要素点 A		70	51.42

4 価格要素審査

価格要素審査を行うにあたり、入札価格が有効な入札価格（予定価格を超過する入札価格及び府中市低入札価格調査制度運営要綱に基づく適正な履行確保の基準のうち、数値的判断基準（工事費内訳での判断基準）を下回る入札価格を除く）であるかどうかの確認を行い、提示された入札価格は有効であることを確認した。

入札価格をもとに価格要素点を算出した。価格要素点の算定結果は表 6に示すとおりである。

表 6 価格要素点の算定結果

指定名称 審査項目	あやめ	入札書比較価格
入札価格	1,489,000,000円	1,489,810,000円
価格要素点 B	30.00点	

※消費税及び地方消費税額を含まない

5 総合評価

選定委員会は、非価格要素点と価格要素点を合計して総合評価値を算定し、表 7のとおり、総合評価値の点数が最も高いあやめ（テスコ株式会社）を落札者として選定した。

表 7 総合評価値の算定結果

指定名称 審査項目	あやめ
非価格要素審査点 A	51.42点
価格要素審査点 B	30.00点
総合評価値 A+B	81.42点

VI 審査講評

1 非価格要素提案に係る審査講評

非価格要素提案に係る審査講評は、表 7に示すとおりである。

表 7 非価格要素提案に係る審査講評

評価項目	講評
安全・安心で安定した稼働ができる施設	
設備・機器等の配置計画、作業動線計画	点検・補修等を考慮した機器の数量・配置とするとともに、省スペースとなる機器選定を評価した。
運転管理計画、運転指導計画	日常点検・定期点検を効率的に行うための機器への工夫や、運転員の作業時の負担軽減策の内容を評価した。
施設の安定稼働に関する実現方策	積替・搬出設備を2系列とすることにより処理の冗長性を確保する提案を評価した。
工事施工計画	工事中も稼働している既存施設に配慮した工事施工計画を評価した。
環境保全に配慮した施設	
建設工事中における作業環境や周辺環境への配慮	仮設中継施設における工事車両通行、工事車両排ガス・騒音・振動・悪臭・濁水・排水対策を評価した。
施設稼働後における作業環境や周辺環境への配慮	中継施設における騒音・振動・悪臭・水質等の対策を評価した。
地域に貢献し、親しまれる施設	
環境学習・啓発の場としての機能	環境学習・啓発の場としての機能を構築するための展示内容を評価した。
経済性に優れた施設	
ライフサイクルコストの低減	補修修繕費及び用役使用量を削減するための機器選定を評価した。
その他	
地域経済への配慮・貢献	市内業者への発注金額を評価した。
ごみ処理施設の施工実績	施工実績を評価した。

2 総評

本工事の入札では、2社から入札参加資格確認申請書の提出があったが、1社から辞退届が提出され、最終的に1社から技術提案書が提出された。

技術提案書を提出した入札参加者においては、提案書類の作成やプレゼンテーション準備等にあたって、多大な労力と費用があったものと推察される。そのような中、提案をまとめられた入札参加者の熱意に敬意を表するとともに深く感謝する。

選定委員会では、落札者決定基準に基づき技術提案やヒアリング内容を踏まえた非価格要素の審査及び価格要素の審査を行い、公平かつ厳正に審査を行った結果、あやめ（以下、「テスコ株式会社」という。）を落札者として選定した。

テスコ株式会社の提案は、府中市が審査項目として掲げた「安全・安定稼働」、「環境保全」、「地域貢献」、「経済性」等について深く検討されているものと判断した。特に評価が高かった提案は、『安全・安定稼働』に関して省スペースとなる機器選定、日常点検・定期点検を効率的に行うための機器への工夫、積替・搬出設備を2系列とすることにより処理の冗長性を確保する提案、『経済性』に関して補修修繕費及び用役使用量を削減するための機器を選定する提案であった。

本工事を実施するにあたっては、発注仕様書及び提案内容を誠実かつ確実に履行するとともに、本工事の重要性に鑑み、特に次の事項への対応に努められることを願う。

- (1) 提案内容については、テスコ株式会社の責任と費用負担において確実に履行し、長年にわたり所定の機能を維持できるようにすること。
- (2) 提案された内容の具体的な設計・施工にあたっては、諸条件の設定について精査し、府中市の意向を踏まえた上で実施すること。
- (3) ライフサイクルコスト低減のため、用役使用量や補修頻度等の提案内容を確実に実現させること。
- (4) 周辺環境への影響を最小化するよう努めること。
- (5) 地域貢献に関する提案内容を確実に実行するとともに、地元発注額の増加に向け、さらなる努力を行うこと。
- (6) これまでに蓄積したノウハウを本施設整備において十分に活用し、本施設の運転員が安全かつ容易に安定的で効率的な運転を継続できるような運転指導やマニュアル作成を行うこと。

最後に、市とテスコ株式会社が良きパートナーとなり、地元を含めた信頼関係を構築するとともに、本工事が計画的かつ円滑に進むよう対応されることを期待する。

令和5年1月

(仮称) 府中市クリーンセンター（ごみ中継施設）施設整備事業者選定委員会
委員長 西村 和之